人類に奉仕するロータリー
RI会長　会長ジョン・ジャーム

Rotary District 2640 Japan
海南東ロータリークラブ
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST
2016-2017年
会長　上野山 雅也　　幹事　山畑 弥生　　ＳＡＡ：大江 久夫

第 1899 回例会
平成 28 年 12 月 12 日（月）

12:30～ 海南商工会議所 4F

１．開会点鐘
２．ロータリーソング　「我等の生業」
３．ビジター紹介　和歌山 RC　樫畑 直尚 様
(ガバナーノミニー)

４．出席報告
会員総数 45 名　　出席者数 23 名
出席義務規定適用免除会員　１名
出席率　52.27%　　前回修正出席率　81.82%

５．会長スピーチ　会長　上野山 雅也 君

皆様、こんにちは。本日、ビジター和歌山ＲＣの樫畑様です、ようこそおいでくださいました。樫畑様は、ご存じのとおり、地区ガバナーノミニーでして次々年度のご活躍を期待しております。

無事、年次総会も恙なく終了し安堵しています。忘年会シーズン真っ盛りですが、くれぐれも体調管理にご注意願いたいと思います。私の業界でも、何事も年内に年内にと言われる方が多く何かと気忙しい師走となっております。

さて、本日は米山奨学会委員長の山東さんと国際奉仕委員長の中西さんに、遅れに遅れておりました地区委員長会議の報告をして頂くことになっております。ご両人後程よろしくお願いいたします。桑添プログラム委員長の頑張りのおかげで本年は、外来ゲスト卓話が例年にも増して多く、感謝しているところでありますが、報告の機会が遅くなったことには恐縮しておりまして、どうか、ご容赦願いたいと存じます。

それから、12 月の定例理事会の報告を少しいたしたいと思います。12 月 8 日に開催し報告事項、協議事項とも承認されました。新春夫婦例会に関しましては、島根県生まれ紀の川市育ちの歌手の宮本静さんをお招きし、「ふるさと癒し歌」等をご披露して頂ける運びとなっておりますので沢山のご出席お願いいたしたいと思います。

それから残念なお知らせですが、以前より退会届が提出されておりました、楠部さん、林さんの退会は年内をもって了承することといたしました。ご両人ともご存じのとおり当クラブ創設時からのメンバーでして残念ですが「ご卒業」という形でご両人の固い意志を、尊重さしてもらい断腸の思いで決定いたした次第であります。

それから、3 月 2 日～3 月 6 日にかけフィリピン、セブ島に「水不足による島民への水プロジェクト」とし当クラブより今のところ５名とご家族１名の６名が参加予定となっております。また無事帰還した折には、ご報告いたしたいと思っております。

それと、国際大会の件ですが、後程中西委員長からもお話があるかと思いますが「アメリカ・アトランタ」にて開催となっておりますのでご参加の方は、お早めに申し込んで頂きたいと思います。

６．幹事報告　幹事　山畑 弥生 君

○例会臨時変更のお知らせ
和歌山中ＲＣ　　１月 13 日（金）→　１月 11 日（水）
19：00～ ダイワロイネットホテル
「ルミエール」新年例会

○休会のお知らせ
和歌山中ＲＣ　　１月６日（金）

７．米山功労の表彰

○第 27 回米山功労クラブ　海南東ＲＣ

○第 5 回米山功労者　　谷脇 良樹 君

８．会員卓話

○地区米山奨学委員長会議の報告

委員長 山東 剛一 君

先ず、本日発表の機会をくださったプログラム委員会に感謝いたします。9 月 17 日(土)地区の米山記念奨学委員会に出席した際の主な内容の報告をさせて頂きます。Hアゴーラリージェンシー堺で開催された委員会は、定刻 14：00 に福井ガバナーの点鐘と挨拶ではじまり、地区米山委員長の挨拶、報告がありました。続いて 3 人の奨学生の卓話がそれぞれ 25 分ずつありました。先ず韓国の学生(羽衣国際大学)が「学んできたこと、学んでいくこと」という題で話してくれました。この学生は岩出 RC が世話クラブです。

次に中国山東省から来た学生(和歌山大学)が「私と日本」という題で。世話クラブは有田南 RC です。

3 人目は中国重慶から来た学生(大阪府立大学)が「君子は人の美を成す」という題で。世話クラブは有田 RC です。次に地区の委員会担当者から「米山奨学事業についての理解促進　パワーポイント」という題で 30 分講演がありました。そのあと奨学生の卓話や講演の感想を述べあいました。その中で「中国や韓国など日本と関係のよくない国の留学生の援助はどうも…。という声がクラブ内できこえることもあるが国・政治と学生個人は切りはなして考えるべきなのに」というニュアンスの意見がいくつか出てきました。

ここで、なぜ外国人留学生支援なのかという点について米山豆辞典からの抜粋したものを読みます。「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためにはアジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業でなないだろうか」(ロータリー米山記念奨学会史より)

次に学友についてお話します。韓国の学友はロータリアンになっている人 64 名、駐日大使になった人が 3 名いるそうです。ロータリアンになった人は他に中国人 44 名、台湾人 77 名など計 220 名だそうです。

学友からの寄付金は 2016 年 6 月現在 2,732 万円です。もう一つ疑問に思われるのは「なぜ中国人奨学生が多いのか」ということですが、単に希望者が多い分合格者もそれなりに多いということだそうです。

とにかく原点にもどって考えて下さい。入会時に「できたら毎年 3 万円、少なくとも 1 万円の寄付を」と情報委員会とスポンサーに言われて納得の上入会したはずです。税の優遇措置もあります。どうぞご協力下さい。

12月は 疾病予防と治療月間です

○地区国際奉仕委員長会議の報告

委員長 中西 秀文 君

2016 年 9 月 10 日　テクスピア大阪にて開催され、出席しましたので、報告いたします。司会は地区国際奉仕委員長の中野 一郎氏(堺清陵 RC)が行いました。

まず、福井ガバナーを始めとする 13 名の地区役員と各クラブより 50 名を超える多数の出席があり終始和やかなムードで会議は進行し数年来の地区内の混乱も終焉に近いように感じました。

①国際奉仕の概要と当地区の国際奉仕の現況についての報告(中野委員長)

国際奉仕の目的、基本方針は「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的なネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること。」と掲げられています。(ロータリーの目的　第 4)

②2011 年にインド 3131 地区で中野委員長が村上パストガバナーご夫妻と共に活動したポリオワクチン経口投与(5 才以下)と識字率向上活動の報告

③橋本 RC が展開しているネパールの学校建設の報告(喜多委員から)

④ロータリー財団委員長(中野さんから)財団についてわかりやすく、又、財団の補助金の活用について懇切丁寧に説明がありました。グローバル補助金の活用についてはハードルがかなり高いとの説明でしたが、地区財団委員会と国際奉仕委員会でサポートするので各クラブに是非ともチャレンジして頂きたいという説明。

⑤2019 年 6 月 10 日より開催されますアトランタ国際大会のお誘いと説明が地区オンツーアトランタ委員よりあり、今期の国際大会はロータリー財団 100 周年を祝う節目の大会ですので多数の参加をお願いしますという事です。

・6/10～6/14 ロータリー国際大会
・フィリピン訪問 3/3～6
　寺下・上野山・中西・上中・花田・娘さん・田岡君の家族 4 名が参加します。

国際奉仕アンケート結果

70 クラブ中 63 クラブ回答

海外友好、姉妹クラブあり、34 クラブ　台湾、韓国が多い。

昨年度国際奉仕活動

人道的　17 クラブ(以前の WCS プログラム)、水と衛生　4 クラブ　タイ、フィリピン、ウガンダ。震災 3 クラブ　台湾　高雄地震、飢餓と貧困。識字率向上 8 クラブ　タイ、カンボジア、フィリピン、シオラレオネ、バングラデシュ、ネパール。疫病予防と治療　2 クラブ。モンゴルの少年の病気治療の来日サポートエイズ関連、教育的　18 クラブ。長、短期青少年学生の受け入れ、インターアクト海外研修補助、米山奨学生受け入れ、教育資材の寄付、青少年海外ホームステイサポート、プノンペンで看護師教育の支援、モン

ゴル学生短期留学、ギニアビサウ共和国での小中学生里親制度支援、イスラム講演会のサポート。等々。
本年度の国際奉仕活動
　予定あり 28 クラブ　未定　1 クラブ、人道的　17 クラブ　教育的　12 クラブ　未定　2　その他　2 クラブ、単独事業　14 クラブ　合同事業　9 クラブ。
ロータリー財団の補助金利用　予定している　10 クラブ　予定なし　22 クラブ、利用したいが理解しづらい　4 クラブ。
プロジェクト予算　10 万～220 万
地区内他クラブからの協力要請
　賛同協力可(事業内容の検討含む)　14 クラブ（協力してくれるクラブ)検討します　9 クラブ。
国際奉仕活動に予定のない理由
　地区からの方針がなかったので自粛、予算の問題、会員の高齢化、社会奉仕活動の優先、会員減少のため、単独では荷が重い、6 つの重点分野に該当する事業が出来ない、地区内のトラブル。
地区主催の海外視察について
　必要である　28 クラブ　必要でない　16 クラブ
必要な理由
　プロジェクト実施後、視察すれば感動する。国際奉仕の必要性を実感。地区主催の WCS 活動を復活させ国際奉仕を見つめなおす良い機会となる。見聞が広がる。支援するにあたり情報が必要なため、地区主導の企画は良い。
必要でない理由
　奉仕する金額以上の費用を費やす、物見遊山的視察は必要ない。最近の海外事情による不安がある。地区役員と他の会員との費用の平等負担。地区が主導するものではない。
国際奉仕活動における地区へのご意見
　具体的な情報提供があればクラブも検討しやすい。奉仕活動は各々のクラブで自主的に行われるべき。地区の皆が活性化する親睦と奉仕のバランスが取れた企画を希望する。プロジェクト実施国に赴き、実際に見聞き触れ合う体験が今後の国際奉仕事業に参画する啓発になる。他地区や他国の奉仕プロジェクトの事例紹介や金銭面、情報面など側面的な支援を強化してほしい。クラブの小規模化が多い中、合同プログラムを取り入れるべきと思うが各クラブの腰が重いので、地区主導で国際奉仕活動のためのグループ化をすればどうか。以前の地区 WCS のような事業の復活。

９．閉会点鐘

次回例会
　第 1900 回　平成 28 年 12 月 19 日(月)
　12:30～ 海南商工会議所 4F
　ゲスト卓話　高石 RC　坂東　剛　様
　「私の想う 2640 地区」

Rotary International Convention
HOST ORGANIZATION COMMITTEE

ニコニコ・BOX

山東 剛一 君　今日は米山記念奨学会のお話をさせて頂きます。
中西 秀文 君　今日は国際奉仕委員長会議の報告をさせて頂きます。
理事会残金

Rotary NEWS

RI 会長メッセージ

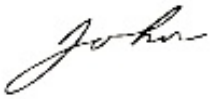
見ず知らずの人たちを支援する

2016-17 年度 国際ロータリー
会長　ジョン・ジャーム

　親愛なるロータリアンの皆さん、私は、エンジニアとしてロータリーに入会しました。エンジニアリングは多くの分野に分かれていますが、ロータリーには、エンジニアリングに関して、それに匹敵する数の職業分類があります。私の場合はメカニカルエンジニアです。
　メカニカルエンジニアは、新しいビルの暖房や冷房の負荷を計算したり、適切な場所に適切な照明を配置されていることを確認し、噴水式の水飲み場から温水が出てきたりすることがないよう、配管を設計します。
メカニカルエンジニアは大勢の中で目立つ存在ではありませんし、自分らの仕事に注意を喚起することもしません。皆さんも、出入りするビル、運転する車、いつも通る道路の信号システムなどを設計したエンジニアのことを考えたりはしないでしょう。しかし、エレベーターに乗る時、車のエンジンをかける時、青信号で道路を渡る時はいつも、皆さんは見ず知らずのエンジニアに命を預けていることになります。行きたい階でエレベーターのドアが開き、思った通りに車が動いたり止まったりし、横断歩道の信号が青になる前に、車両向けの信号が赤になることを固く信じているはずです。つまり、皆さんは毎日、面識のない、名前も知らない人の手に命を委ねているというわけです。皆さんはそれらの人たちのことを全く考えたことがないかもしれませんが、それらの人たちは毎日の生活に大きく関わっているのです。
　私は、ほかのいかなる職業についても同じような例を挙げることができます。普通の仕事にも、同じように人生を変える影響力があります。私たちの目に触れるものもあれば、そうでないものもあるでしょう。私たちは職業によって、人々がより良く、より安全で、より健康な生活を送る手助けをすることができます。

まさに、私たちがロータリーで実践していることと同じように。自らの職業を通して、自らのクラブで、地域社会で、海外で、私たちは見ず知らずの、そして今後も会うことがないであろう人たちの人生に触れています。さらに、世界の至る所で、毎日、ロータリーの活動について知ろうと知るまいと、人々はロータリーの活動によってより良く、より安全で、より健康な生活を送れることができるのです。
私たちが手を差し伸べる人たちは、ロータリアンに会ったことがないかもしれませんし、
ロータリーの存在さえ知らないかもしれません。それでも、これらの人たちはロータリーが掘った井戸からきれいな水を飲み、ロータリーが提供した本を読んで学び、より良く、より幸福で、より健康的な生活を送っています。なぜなら、「人類に奉仕するロータリー」だからです。

ジョン F. ジャームＲＩ会長の講演とニュースは www.rotary.org/office-president から。



人類に奉仕するロータリー

ATLANTA 2017
ROTARY INTERNATIONAL CONVENTION

ロータリー早分かり

世界 120 万人の会員から成るボランティアのネットワーク、ロータリーは、地域社会を支援する草の根の活動から、全世界でポリオを撲滅する国際的取り組みまで、200 以上の国と地域にあるロータリークラブを中心に奉仕活動しています。
ロータリーはさらに、地域社会の人びとにもさまざまな奉仕の機会を提供しています。

- インターアクト： 12～18 歳の若者を対象としたグループで、ボランティア活動に参加しながら、国際理解を深めることを目指しています。ロータリークラブがスポンサーとなってクラブが設立され、現在、世界 133 カ国に 12,300 以上のインターアクトクラブがあります。
- ローターアクト：18～30 歳の若者を対象としたグループで、ボランティア活動を実施したり、リーダーシップのスキルや就職に役立つ知識を学びながら活動しています。ロータリークラブがスポンサーとなってクラブが設立され、現在、世界 167 カ国に 8,000 以上のローターアクトクラブがあります。
- ロータリー地域社会共同隊（RCC）： ロータリークラブ会員以外の人びとが、地域社会のためにボランティア活動をするグループです。ロータリークラブがスポンサーとなって設立され、現在、世界 80 カ国に 7,500 以上の RCC があります。

ロータリーの会員について
「どのような人びとか？」 ロータリーには、地域社会のために何かをしたいと考える人びとが集まり、親睦を楽しみながら、仲間とともに奉仕活動を行っています。ロータリーの会員は「ロータリアン」と呼ばれ、その職業は、医師や弁護士、中小企業のオーナーから主婦まで、実にさまざまです。それぞれの会員が知識やスキル、持ち味を生かすことで、多角的な視野でニーズをとらえ、社会に貢献しています。
「クラブはどこにあるか？」 ハイチ、グリーンライド、ナイジェリア、シンガポール、そして日本にいたるまで、世界の隅々にクラブのあるロータリーは、真に国際的な多様性をもっています。現在、最もクラブが多い国は、米国、インド、日本、ブラジルです。また、東南アジアとアフリカでも、ロータリーが急成長しています。
「どのような活動をしているか？」 ロータリアンは、世界中の地域社会で、持続可能な成果をもたらす長期的な活動に力を注いでいます。ロータリーが特に力を入れている分野は、平和と紛争解決、疾病の予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展です。

ポリオ撲滅：
ロータリーは、ポリオプラス・プログラムを開始した 1985 年以来、世界からポリオ（急性灰白髄炎）を撲滅するために懸命に活動しています。活動開始以来、ポリオの発症数を 99%減らすことに成功しており、撲滅が実現すれば、ポリオは天然痘に続いて 2 番目に世界から根絶された病となります。1988 年、ロータリーは、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米国疾病対策センター（CDC）と協力し、世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）の発足に大きく寄与しました。ポリオ撲滅は、現在もロータリーの最優先事項となっています。ロータリーはこれまでに、12 億米ドル以上をこの活動に寄付したほか、122 カ国、20 億人以上の子どもに予防接種を行うために無数のボランティア時間を捧げてきました。現在、ロータリーはポリオ撲滅に向けて 2018 年まで毎年 3,500 万ドルを募金することを目標としており、集まった資金に対してビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が 2 倍の額を上乗せし、その合計がポリオ撲滅に投入されます。